

団体戦についての注意事項

(全国高体連テニス専門部より)

Ⅰ ベンチコーチについての注意事項

- ①ベンチコーチは、監督または登録選手・登録されたベンチコーチが、各コートに1人ずつ入ることができる。
- ②インプレー中は、ベンチに座って選手のプレーを静かに見守る。
ポイント間もベンチから立たない。
- ③コーチングは、エンド交代時のみ行うことができる。
タイブレーク中のエンド交代時にはコーチングはできない（水分補給や汗拭き）。
- ④ポイント間は、技術的内容・戦略的内容を含む声かけやジェスチャーはできない。
良い例 がんばれ、ナイスショット、ドンマイ、先リード、ポイント、強気、集中、ファースト
悪い例 前に出ろ、もっと振り抜け、ラリーを続けろ、打っていけ、もっと攻めていけ
- ⑤ポイント間に選手のもとに行くこと、選手を呼び寄せることをしてはいけない。
- ⑥多面同時展開の時、隣のコートの応援やコーチングはできない。その場合はコートを移動して行う。
コート移動は、インプレー中でなければいつでもできるが、時間内（25秒以内）で速やかに行う。ただし、選手がサーブを打つ準備（ボールをつく等）に入ったら、移動は認められない。
- ⑦日傘や雨傘を差してもよい。ただし、光が反射してプレーの妨げとなる傘（シルバー色など）を差すことはできない。

2 観客席からの応援について

- ①試合中、コート外の誰からもコーチング（ジェスチャーを含む）を受けることはできない。
 - ② がんばれ、ナイスショット、ドンマイ、先リード、ポイント、強気、集中、ファースト等の応援はよいが、前に出ろ、もっと振り抜け等の技術的内容・戦略的内容を含む応援はコーチングとして判断される。
 - ③オフコートコーチングは採用しません。
- 3 歌や複数部員による連呼は、試合前の練習時間のみにしてください。
3ポイントの団体戦の場合は、各試合前の練習時（3回）